

4月の野菜の見通し

平成30年3月23日現在

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
だいこん		11,375	前年並	11,605	94	96%	94	-	-	千葉県沿岸部をはじめ、3月の気温高、降雨により関東産は総じて平年作の見込み。肥大状況も2L、Lサイズ中心と順調。総体の予想入荷量は前年、平年並みにあり不足感はなし。千葉県内陸部、茨城産からの出荷も始まり、月前半は下げ気配強まる。需要衰退と年明けから続いた高値反動もあり、価格は前年、平年より若干安。
はくさい		6,152	105%	6,193	141	71%	95	-	-	前年の春作、秋冬作の高値で生産意欲は高く、作付け増の流れにある。春作は当初低温、干ばつで生育遅れていたが、3月に入ってから気温高、適度な降雨等で生育は平年作に回復。玉伸び順調で4玉中心となる見込み。作付増もあり、予想入荷量は前年比105%。茨城県内の主要産地はそれぞれピークを迎えるタイミングで下げ気配強まる見通し。価格は基調高の前年より大幅安も平年よりやや高い。
キャベツ		19,569	前年並	18,229	118	106%	115	-	-	神奈川産春キャベツが販売の中心となる。定植遅れと低温による生育停滞のため、出始めの出荷ペースは鈍かったが徐々に回復。ピーク入りはやや遅れ中旬以降と見込まれる。愛知産、千葉産も回復基調にあり、総体の予想入荷量は潤沢だった前年並み。神奈川産の増量にとまない上旬は軟調、下旬からは関東各産地とも量が重なり下げ気配強まるも下げ幅小さく、需要はあり価格125円は前年、平年よりやや高い。
ほうれんそう		1,148	105%	1,172	490	88%	534	-	-	関東各産地とも播種作業は順調に進んでおり、現状、生育は概ね順調。気温次第で出荷量は増減するも平年作。量は少ないが高冷地、東北産も出始める。総体の予想入荷量は前年比105%。4月上旬は特売等が重なり引合い強く、上げ気配強まるも、中旬以降は入荷の山も大きく、需要も落ち着き軟調推移となる見通し。荷動き自体は悪くないが、潤沢入荷により価格は前年、平年よりも安い。
ねぎ		3,691	前年並	3,889	329	91%	302	-	-	産地によっては当初見込みよりも秋冬作の残量あり。各産地とも春ねぎの生育は概ね順調。肥大も例年通りLサイズ中心。茨城産の初夏ねぎも平年作と見込まれ、中旬からスタート予定。総体の予想入荷量は前年並み。下旬は気温上昇により需要の落ち着きと抽苔の懸念から荷動き鈍く、下げ気配強まる見通し。価格は前年比安も平年並み。

品目	区分	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
		前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年実績	前年比見込(%)	5カ年平均	前年入荷量(t)	前年占有率(%)	
きゅうり		6,923	前年並～ やや減	7,126	279	93%	290	-	-	<p>関東産中心に各産地とも根張りは万全ではないが、日照量に恵まれ、花着き、着果状況とに順調。平年作と見込まれるも、作付面積の自然減もあり、総体の予想入荷量は前年並み～やや減。</p> <p>中旬には春作の増量にともない下げ気配強まる。価格は前年、平年よりやや安い。</p>
トマト		8,169	103%	7,675	336	95%	386	-	-	<p>色回りの遅れも徐々に回復。長段作は根張りが弱く、やや小玉傾向も花着き、着果ともに順調。植え替えタイプは平年作。低温、4月下旬から5月にかけて入荷の山は大きくなるが、月通じて入荷安定し、総体の予想入荷量は前年比103%と微増。</p> <p>日々増減はあるも、総じて入荷状況は安定しており、相場も保合い推移。春商材として引合いはあるが、価格は前年、平年よりやや安い。</p>